
付 録 調 査 票

保育所児童保育要録を中心とした保小連携についての調査票

【本調査研究の趣旨と目的】

平成 20 年 3 月、厚生労働省告示第 141 号によって保育所保育指針が改定され、平成 21 年 4 月 1 日より施行されました。この保育所保育指針では、保育所と小学校との連携の重要性が強調されるとともに、平成 21 年度より子どもの育ちを支える資料として保育所から小学校へ保育所児童保育要録（以下、保育要録）の送付が義務付けられ、3 月より小学校に送付が開始されました。このような状況の中、保育所と小学校が連携を進めていく上で保育要録の充実や効果的な活用が期待されています。

そこで、本調査研究では、保育要録を媒介とした、保育所と小学校との連携をより効果的に展開していくための方向性を探求することを目的とし、保育要録の実施に関わり頂きました全国の自治体のご担当者、「保育所児童保育要録を中心とした保小連携についての調査」を実施しています。

お忙しい中恐縮ですが、率直なご意見をお聞かせいただけますようお願い申し上げます。

- ※ 本調査は、保育要録を所管する部署の担当者がお答えください。
- ※ 本調査はコンピューターで統計的に処理をしますので、貴自治体や回答者のプライバシーに関してご迷惑をおかけすることは一切ありません。
- ※ 調査時点は指定のない場合は平成 22 年 4 月 1 日現在でお答えください。
- ※ 提出期日：10 月 25 日（月）までにご送付いただけますようお願い致します。

◎ ご協力のお願い

今後作成する調査研究報告書において、調査統計データとともに、各自治体で使用している「保育所児童保育要録」の様式を参考にしたいと存じます。つきましては、ご協力いただける場合は日本保育協会事業部宛てに F A X（下記）で様式をお送りいただけますとありがたく存じます。

また、様式を報告書等に掲載する場合には、貴自治体に連絡し承りたくて使用いたします。

ご協力賜りますようお願い申し上げます。

Ⅲ 保育要録について

10. 保育要録はどのような様式ですか？ 該当するもの1つに○をしてください。

- 1 保育所保育指針に示された保育要録の参考例と同一
- 2 保育所保育指針に示された保育要録の参考例を加工
- 3 団体等が作成した保育要録〔団体名： _____〕
- 4 市町村独自で保育要録を作成（※様々な資料を参考にはしたが独自に作成した場合）

11. 保育要録を策定するにあたり、検討（策定）委員会等を組織しましたか？はい、いいえのどちらかに○をして、矢印へお進みください。

- 1 はい……………▶ 委員会等の構成メンバーに○をしてください（複数回答）
 - a. 市町村保育担当課
 - b. 保育所関係団体
 - c. 教育委員会
 - d. 小学校教員
 - e. 保育所職員
 - f. 幼稚園職員
 - g. 幼稚園関係団体
 - h. その他〔 _____ 〕
- 2 いいえ……………▶ 組織しなかった場合、どこが、どのように作成しましたか？
〔どこが： _____ 〕

〔どのように： _____ 〕

12. 保育要録の様式の策定において特に配慮・留意した点を選択してください（3つ以内）。

- 1 記入のしやすさ
- 2 保育士の負担の軽減
- 3 養護と教育のバランス
- 4 子どもの様子を共有できるための記入・表現方法
- 5 保育所と小学校との子どもに関する情報の共有
- 6 保護者への情報開示の際の配慮
- 7 特に配慮はしていない

13. 保育所への保育要録の記入等についての周知方法を選択してください（複数回答）。

- 1 記入マニュアルの作成・配布
- 2 市町村（行政）主催の研修会等を実施……………▶ 以下の13-1と13-2にご回答ください
 - 13-1：研修会等の対象者を選択してください（複数回答）
 - a. 園長
 - b. 主任保育士
 - c. 年長担当保育士
 - d. 保育士全般
 - e. その他〔 _____ 〕
 - 13-2：研修会等の回数をご記入ください
〔 _____ 〕回
- 3 その他の周知方法
〔 _____ 〕
- 4 特にしていない

17. 保育要録を受け取った小学校からの反応や意見はありますか？ 該当するものに○をしてください。

1 ある ……………▶ 反応や意見の内容についてご記入ください

()

2 ない（把握していない）

18. 今後の保育所と小学校の連携に向けて、保育要録がどのような場面で活用されることが期待されますか？ 以下のそれぞれの事柄について、該当するものに○をしてください。

18-1：保育所から小学校への子どもの生活の場のスムーズな移行

1 期待される 2 やや期待される 3 あまり期待されない 4 期待されない

18-2：小学校での授業への活用

1 期待される 2 やや期待される 3 あまり期待されない 4 期待されない

18-3：小学校での子どもの健康状態の把握や健康管理

1 期待される 2 やや期待される 3 あまり期待されない 4 期待されない

18-4：小学校での子どもの友人関係の把握・構築

1 期待される 2 やや期待される 3 あまり期待されない 4 期待されない

18-5：小学校でのクラス編成への活用

1 期待される 2 やや期待される 3 あまり期待されない 4 期待されない

18-6：保育所と小学校の連携カリキュラムの構築

1 期待される 2 やや期待される 3 あまり期待されない 4 期待されない

18-7：保育所と小学校の連携のための資料の1つとして活用

1 期待される 2 やや期待される 3 あまり期待されない 4 期待されない

19. 保育要録についての今後の展望や課題等についてご記入ください。

()

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

10月25日（月）までにご返送くださいますようお願いいたします。

保育所児童保育要録を中心とした保小連携推進事業調査研究委員及び執筆者一覧

- ◎ 寺 田 清 美 (東京成徳短期大学教授)
- 和 田 信 行 (東京成徳短期大学教授)
- 松 壽 洋 子 (埼玉学園大学教授)
- 尾 木 ま り (子どもの領域研究所所長)
- 櫛 田 薫 (東京都・認定こども園品川区立五反田保育園園長)
- 馬 場 耕一郎 (大阪府・おおわだ保育園園長)
- 田 中 浩 二 (山口県・のあ保育園副園長)
- 福 嶋 義 信 (熊本県・合志中部保育園副園長)

◎は本調査研究委員長

保育所児童保育要録を中心とした保小連携推進事業報告書

発 行：平成23年 3 月

発行所：社会福祉法人 日本保育協会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5 丁目53番 1 号

電話 03-3486-4412 (代) FAX 03-3486-4415

URL：http://www.nippo.or.jp

本書の内容あるいは全部を転用、複製複写（コピー）する場合は、法律で認められた場合を除き、当協会あてに許諾を求めてください。

